



一橋大学機関リポジトリ
HERMES-IR

Title	国際共同研究センタープロジェクト『東アジアの安定的発展と日本の役割：グローバリゼーション・成長の質・ガバナンス』全体説明
Author(s)	小川, 英治
Citation	
Issue Date	2008-07-03
Type	Presentation
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10086/15840
Right	



HITOTSUBASHI UNIVERSITY

国際共同研究センタープロジェクト 『東アジアの安定的発展と日本の役割： グローバルイゼーション・成長の質・ガバナンス』

一橋大学国際共同研究センター長
小川英治



吹野プロジェクトのキーコンセプト

- 東アジア、北東アジアの課題と日本の役割
- オールー橋(社会科学の総合、有機的連携)
- 国際的な研究ネットワーク作り(「吹野フェロー・プログラム」)
- 政策提言型
- 情報発信(国際コンファレンス、Discussion Paper Series、出版etc)



吹野プロジェクトの概要

- 全体テーマ:「東アジアの安定的発展と日本の役割: グローバリゼーション・成長の質・ガバナンス」
- 学内における多数の優れた研究プロジェクトを有機的に連携させながら、全学的に取り組む。その有機的連携から一橋大学発の政策提言。
- 期間:3年間(2008年度～2010年度)
- 外国人研究者との共同研究プロジェクトのネットワーク化(「吹野フェロー・プログラム」による外国研究者招聘(公募を含む))
- 全体テーマの下において、定例セミナーの他、国際コンファレンスあるいは国際シンポジウムを毎年1回、開催する。
- Discussion Paper Series等の出版による研究成果の発信



全体テーマ

- 「東アジアの安定的発展と日本の役割：グローバル化・成長の質・ガバナンス」
- 東アジア、とりわけ、北東アジアの安定的発展が世界経済の持続可能な成長（すなわち、成長の質）にとって重要。そして、その中での日本の役割について政策提言。



5つのサブテーマ

- (1) 20世紀東アジア—歴史的総括【谷口晋吉(経)・糟谷憲一(社)】
- (2) 21世紀東アジアにおける成長の質とガヴァナンス—共有する難題【佐藤宏(経)・佐藤主光(経)】＋アジア環境P.(寺西俊一(経))との連携
- (3) 21世紀東アジアの国際経済ガヴァナンス—経済統合と市場秩序【小川英治(商)・奥田英信(経)】
- (4) 東アジア国際社会のガヴァナンス—対立, 和解と共存【秋山信将(法)・足羽與志子(社)】
- (5) 東アジアのダイナミクスとガヴァナンス—メインアクターとしての企業【守島基博(商)・都留康(研)】

吹野フェロー・プログラム

- 目的:外国人研究者との共同研究プロジェクトのネットワーク化
- 外国人研究者が一橋大学に短期(1ヶ月以内)滞在して、吹野プロジェクトに関する共同研究を行う。
- 若手あるいは最先端研究に取り組んでいる外国人研究者が対象。
- 吹野フェローの一部は公募。



研究成果・政策提言の情報発信

- キックオフミーティング(2008年7月3日)
特別講演:黒田東彦ADB総裁「東アジアの安定的発展と日本」
- 国際コンファレンス、シンポジウム(2009年3月、2010年3月、2011年3月)
- 特別講演会(2008年6月7日):青木保文化庁長官「平和と文化交流」(サブテーマ4(「平和と和解の研究センター」との共催))
- 一橋大学アジア環境プロジェクト・シンポジウム(2008年6月18日)



吹野プロジェクトの組織図

